

会長挨拶

静岡実験動物研究会 会長
静岡県立大学薬学部薬理学分野教授
石川 智久

コロナ禍におきまして、皆様方も公私にわたり新しい生活様式に向けてご苦勞を強いられていることと存じます。昨年、この挨拶文を書かせて頂いた頃、新型コロナウイルス感染が日本でも広がり始め、いわゆるコロナ禍の第一波のさなかでした。静岡県内の感染者は僅かでしたが、会員の皆様の安全を第一に考え、例年開催していた教育セミナーを延期することを報告させていただきました。その時点では、10月開催の総会・研究発表会は開催するつもりでございましたが、その後第二波が襲来し、開催を断念いたしました。そして、新規感染者数が第一波、第二波に比べて一桁多い第三波、さらには変異ウイルスが猛威を振るっている第四波と、状況は昨年よりも悪化していると言わざるを得ません。こうした状況を踏まえ、一方で、オンライン対応が進んでいることを鑑みまして、今年度は、教育セミナー及び総会・研究発表会をオンライン開催することにいたしました。

静岡実験動物研究会は、静岡薬科大学薬理学教室初代教授・林榮一先生を発起人代表として1971年に発足し、昨年50周年を迎えました。そこで、50周年特別企画として、令和2-3年度大会大会長である中外製薬・渡邊利彦先生に動物行動学に関する特別講演を企画していただきました。例年、特別講演は1講演のみですが、今回は50周年記念大会ということで、3名の先生にご講演をお願いしています。また、教育セミナーは、「適切な疼痛管理とその評価」を題材として開催されます。多種多様な動物実験において苦痛の程度を一律に分類するのは無理があり、実験者自身の動物実験に対する見識を深めることが重要となります。いずれの企画も、実験動物を適切に実施していく上で大変役に立つ内容になっています。

静岡実験動物研究会の活性化と更なる発展は、研究発表会で多くの演題が発表され、活発な議論が行われることにかかっていると断言して過言ではありません。今回はオンライン開催という初めての試みであり、不都合やご不便をお掛けすることもあるかもしれません。ただ、最近では多くの学術集会在オンラインで開催されており、参加者が通常よりも多かったという話もよく耳にします。気軽に参加できるというオンライン開催のメリットを生かして、より多くの皆様にご参加いただき、活発にご議論いただくことをお願い申し上げます。

■企画委員からのお知らせ

企画担当幹事

寺田（クミアイ化学）、渡辺（ボゾリサーチセンター）、奥村（日本クレア）

動物実験には疼痛や苦痛が伴い、疼痛や苦痛は動物の生理学的反応に影響を及ぼし、実験結果を左右します。疼痛を適切にコントロールすることで、これらの影響を排除あるいは軽減し、安定した実験結果を得ることが期待できます。さらに動物福祉の観点から、3R 特に Refinement（苦痛の軽減改善）を実現するために、不必要な疼痛をできる限り排除することは動物実験実務者の責務といえます。

今回の教育セミナーでは、適切な疼痛管理とその評価についての課題を整理・共有し、課題を解決するための具体的な施策について学び直していただき、動物福祉に適い、実験精度を向上させるための一助としていただければ幸いです。

令和 2-3 年度教育セミナー 「疼痛管理と評価」

日時：2021 年 7 月 2 日（金）13:00～17:30

会場：オンライン開催（Zoom）

タイムスケジュール

12:30～	受付開始
13:00～13:05	開会
13:05～13:20	「小動物の疼痛管理に関する会員アンケート結果の共有」 堀 真美（クミアイ化学工業株式会社）
13:20～14:40	「マウス・ラットの周術期管理－手術麻酔・疼痛管理のエビデンス－（仮題）」 塚本 篤士 先生（麻布大学 獣医学部 実験動物学研究室）
	休憩 30 分 <企業プレゼンテーション>
15:10～16:10	「麻酔下の脳は痛みを感じているか？—fMRI による痛みの可視化」 白井 朋美 先生（浜松ファーマリサーチ）
16:10～17:10	「動物の表情を用いた疼痛評価（仮題）」 宮部 貴子 先生（京都大学 霊長類研究所）
17:10	閉会

参加資格： 当会会員 及び 賛助会員

- ※ 非会員の方は事前にご入会いただき、参加申込みの程よろしくお願いたします。年会費は 1500 円です。入会される場合はホームページの入会案内をご覧ください。<<https://www.shizuoka-eara.com/入会案内/>>
- ※ 賛助会員については 1 機関 3 名まで参加可能とします（個人が正会員である必要はありません）。所属機関単位でのお申込みをお願いいたします。

- 参加申込：・ 下記の企画担当役員までメールでお申込みください。
- ・ 可能な限り所属機関単位で取り纏めて申し込みをお願いします。
 - ・ 参加費は無料です。
 - ・ 申込締切日：2021年5月31日（月）
 - ・ 定員80名：先着順とし、締め切り前であっても参加希望者が定員に達し次第、募集を締切らせていただきます。
 - ・ 参加要領は受付確認後のメールに記載いたします。

【メール記入例】

件名： 【静岡実験動物研究会】教育セミナー参加申し込み

本文： 以下のとおり参加を申し込みます。

所 属：

参加者氏名：

Email アドレス：

電 話 番 号：

お申込み、お問合せ先：

静岡実験動物研究会 企画担当委員 担当：寺田めぐみ

クミアイ化学工業株式会社 生物科学研究所 生命・環境研究センター
安全性評価研究室

TEL：0537-35-3156 FAX：0537-36-3718

E-mail: m-terada@kumiai-chem.co.jp

■ 令和 2-3 年度(50 周年総会記念)大会開催にあたって

静岡実験動物研究会 令和 2-3 年度大会大会長

中外製薬株式会社 渡邊 利彦

会員各位におかれましてはコロナ禍の苦境にも負けず頑張っておられることと思います。令和 2 年に企画しておりました大会は、コロナウイルスのパンデミックにより開催を断念せざるを得ず、会員の皆様に貴重な情報共有の場をご提供することがかなわず断腸の思いでした。

本年度もコロナパンデミックの波はおさまらず、予断を許さない状況の中、開催するための方法を探ってまきましたが、何とか Web を通じたオンライン開催の目途が立ちました。

昨年、50 周年特別企画として準備を進めていました動物行動学に関する特別講演を行います。

動物行動学は、実験動物の分野でも導入や理解が進んでいる環境エンリッチメントについて評価して、改善するために、基礎となる知識だと思えます。

特別講演は例年 1 演題のみとしていますが、今回は 50 周年記念ということで、動物行動学について国内の著明な 3 名の先生をお呼びして、基礎から実践的な問題行動へのアプローチから行動評価までを、講義を聴き、さらには行動評価を実際に体験するようなプログラムを企画していますので、会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

また、会員発表として、研究報告のみならず、日常の業務改善、技術開発や改良、症例報告、情報交換などの一般演題も広く募ります。特に 35 歳未満の発表者は「林榮一賞」の受賞対象となりますので奮ってエントリーしてください。多くの皆様の参加と発表を役員一同お待ちしております。

また、今回は 50 周年記念として参加の有無にかかわらず会員の皆様に実用的な記念品を用意しています。この 50 周年を振り返り、これからの静岡実験動物研究会の活動につなげてくださればと思います。

令和 2-3 年度大会開催案内

日時：令和 3 年 10 月 29 日（金）

受付 09:00 より

会員発表：10:00 より

総会：12:30

50 周年記念企画特別講演：13:00 より

場所：Web 開催（アクセス方法などについては別途ご案内します）

参加方法：参加申し込みおよび、参加方法などについては別途ご案内します。

参加資格：会員のみ。参加希望者は会員登録を参加締め切りまでに行ってください。

参加費：無料

概要

▼会員発表：Web 発表を予定（10：00 より）

発表演題の登録数によって開始時間は変更になる場合があります。

▼総会（12:30 より）

令和 2-3 年度事業報告

令和 2-3 年度会計報告

令和 4 年度事業計画

▼会長講演（13:00 より）

静岡実験動物研究会 50 年を振り返って 石川智久先生（静岡県立大学）

▼50 周年特別講演 動物行動学の基礎と実践（仮）

✓ 動物行動学の基礎 加隈良枝先生（帝京科学大学）

動物行動学の基礎をわかり易く解説

✓ 動物行動の臨床:問題行動に対する行動治療 奥田順之先生(ぎふ動物行動クリニック)

臨床で行われている問題行動治療について実例を交えて解説

✓ 動物行動評価の実践 山梨裕美先生（京都市動物園/SHAPE-Japan）

映像や写真を使った行動評価の体験

■ 第 48 回研究発表会演題募集

静岡実験動物研究会第 48 回研究発表会の一般演題を下記の要綱にて募集しますので奮ってご応募下さい。発表時に 35 才未満の発表者（当研究会の会員）を対象とし、優秀発表賞（林榮一賞）の表彰もしています。

発表形式： Web による口述発表（PDF やパワーポイント等を使用）

募集要綱： ①演題名、②発表者氏名、③共同研究者名、④所属、⑤連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、⑥会員区分（会員／非会員）、⑦発表時（10 月 29 日）の年齢、⑧要旨（作成ソフトは可能な限り MS-Word をご使用いただき、A4 用紙 1 枚に作成下さい）。上記①～⑧を下記申し込み先に E-mail（メール添付）あるいは郵送にてお送り下さい。E-mail の件名は「静岡実験動物研究会演題申し込み（発表者氏名）」でお願いします。

応募締め切り： 2021 年 8 月 20 日

申し込み先： 〒412-8513

中外製薬株式会社 富士御殿場研究所 研究業務推進部
渡邊 利彦

TEL：0550(87)9157 FAX：0550(87)1960

E-mail：watanabetsh@chugai-pharm.co.jp

■ 会報掲載原稿提出のお願い

第 48 回研究発表会の発表内容を静岡実験動物研究会会報に掲載させていただきますので、発表者は下記要領に従って会報掲載原稿の作成および提出をお願いします。

<会報原稿作成要領>

- 1) 原稿の長さは、図表を含めて A4 刷り上り 2 ページを目処としております。1 ページあたり 2024 字を目安にして下さい。
- 2) 原稿の作成は①～④をご参照下さい。
 - ① 句読点は「.」、「,」を用いる。
 - ② 数字と単位の間半角空白を挿入する（%の場合は空白なし）。
例) 25 mm、55 mL、82%
 - ③ 図表の表題：図の場合は図の下に、表の場合は表の上に記述する。
略語などの説明：図の場合は表題の下に、表の場合は表の下に記述する。
 - ④ 図表の文中での引用：句点付近では句点の前に記述する。
例) 増加した (図 2).
明らかとなった (Table 1).
- 3) その他体裁、引用文献の記載方法、刷り上りのイメージ等は、会報 45 巻 1 号 (2019) の一般抄録および巻末の投稿規程をご参照下さい。
- 4) 文章、図、写真、表は次のファイル形式で作成して下さい。
文章： Microsoft Word(doc)あるいはテキスト(txt)ファイル
図・写真： Microsoft PowerPoint(ppt)あるいは jpg ファイル
表： Microsoft Excel(xls)、Word(doc)あるいは PowerPoint(ppt)
- 5) 文章中には、図・写真および表の挿入箇所を入れて下さい。文章中に図・写真および表を挿入した原稿を作成して頂いても結構ですが、刷り上りの書式に整えていただく必要はございません。
- 6) 演題抄録の末尾に著者プロフィールを掲載しますので、著者名、略歴、主な研究、抱負、趣味、座右の銘など簡略に記載願います (必須ではありません)。体裁は会報 45 巻 1 号 (2019) の一般演題抄録をご参照下さい。
- 7) 原稿の提出は、2021 年 12 月 17 日 (金) までをお願いします。
- 8) 原稿の提出は、原稿ファイルの E-mail 添付、原稿ファイルを保存した CD-ROM 並びに印刷された原稿のご郵送のいずれかでお受けします。
- 9) 原稿の送付および原稿に関するお問い合わせは下記までをお願いします。

静岡実験動物研究会 会報担当

高木弓枝

日本エスエルシー株式会社

〒433-8114 静岡県浜松市中区葵東 3-5-1

TEL : 053-437-5348 FAX : 053-436-4320

E-mail: yumie-t@jslc.co.jp